

【富山県内 NPO への緊急アンケート 最終結果報告 (2020 年 5 月 10 日)】

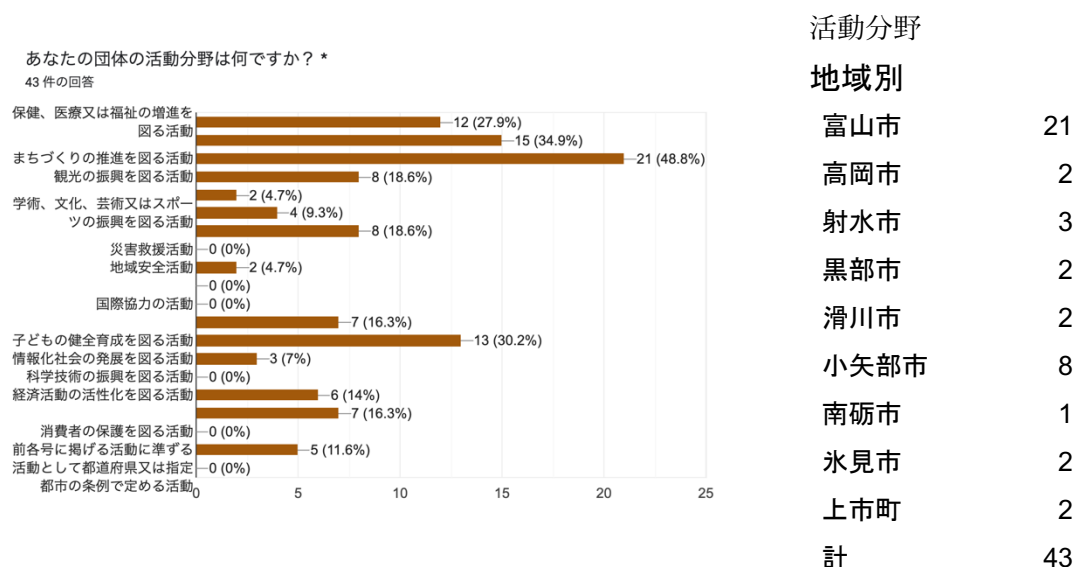
新型コロナウイルス感染拡大による富山県内の市民活動団体への影響および必要な支援等を調査するため、WEB にてアンケートを実施した。

対象：富山県内の NPO、市民活動団体など

期間：2020 年 4 月 25 日から 5 月 9 日 (2 週間)

回答件数：43 件 (うち NPO 法人 17 件、任意団体 20 件、一般社団法人 2 件、個人 4 件)

実施主体：特定非営利活動法人市民活動サポートセンターとやま

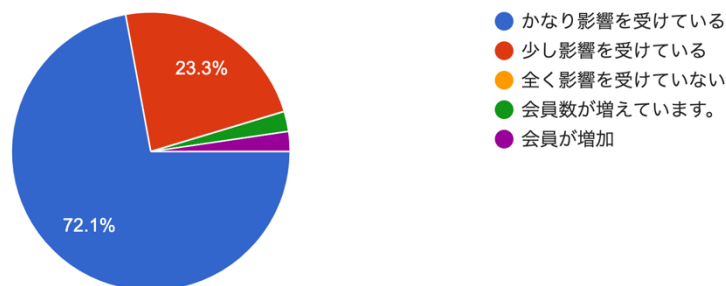


問 1 新型コロナウイルス感染拡大により、団体の活動等への影響はありますか。

問 2 「問 1」で、①「すでに影響がある」および②「今後、影響がでる可能性がある」を選択された方にお尋ねします。具体的にどのような影響か内容を教えてください。

(1) どの程度の影響を受けましたか。 *

43 件の回答



「かなり影響がある」「少し影響を受けている」を合わせると 95.4%と、ほぼすべての団体

に影響が及ぶ。イベント・講座の中止(73.3%)、活動の自粛(68.9%)、自主研修の中止(22.2%)など、新型コロナウイルス感染拡大により、団体としての活動・ミッションが行えない状況がうかがえる。講師派遣の中止や、講座開催の中止など大幅に活動収入が少なくなった団体が多数ある。

【具体的な内容】

- ・清掃活動イベントや交流イベントの自粛
- ・主な活動であるメンタル不調者が集う会が開催できない
- ・活動収入がなくなった。
- ・スタッフとボランティアどちらも給料が発生していないため確保が難しい、人を募れない状況になっている。
- ・公共施設がすべて使用できない状態なので、定期的に行っている体操サークルが3月、4月、5月、と活動中止。また、公共施設への講師派遣も3~6月が休講となっております。
- ・利用者さんの利用控え。消毒薬やマスク等の衛生面の薬や購入代金。心理面の負担。他
- ・休業措置を取り、収入が大幅に減った
- ・総会の中止、イベントの中止・縮小
- ・各種イベント利用のキャンセル
- ・先が見通せないので全ての事業計画がたてられない。
- ・予定していた企業研修等の集会型セミナーが開催できず、収入源が断たれている。
- ・2カ月に一度定期的で開催しているイベントを中止せざるを得なくなった
- ・4月から毎月の定例会を中止している
- ・毎年開催しているイベントの中止
- ・研修講師の派遣事業の中止、キャンセル
- ・集合型のセミナー、研修会が、開催できなくなった

(2)「団体が受けた影響」に、どのように対応をしていますか。

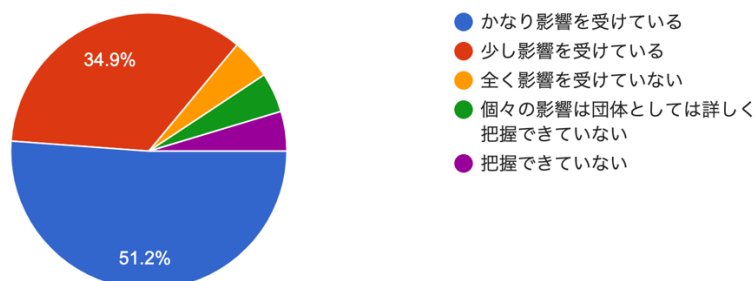
【具体的な内容】

- ・全ての対応を電話とオンライン(zoom)に切り替えて状況を見ている
- ・会費、事務所維持義援金募集
- ・(清掃活動→勉強会)ネットでのセミナーに切り替え意識向上に繋げている(交流会→ネット交流) ネットに切り替え
- ・今までにお手伝いに来ていただいた方に連絡を取り手伝ってもらっている
- ・代わりに Zoom で「お家で普段着コンディショニング」の体験をしていただきました。朝・昼・夜行い、一日の活動量が増えたとのご意見もあり、定例のプログラムにする動きとなっています。

設問 3. あなたの団体の「利用者への影響」についてお聞かせください。

(1) 利用者が、どの程度の影響を受けましたか*

43 件の回答



【具体的な内容】

- ・ストレスとなる家庭・学校・職場から離れる「居場所」が無くなった。
- ・竹林保護が出来ない。竹細工活動による子育て支援やイベント協力が出来ない
- ・収入が無くなったり減ったりして緊急の食糧支援を求める連絡が多く入るようになった。
- ・リアルではまったく参加できなくなっています。
- ・外出ができないことへの、ストレス。常に感染リスクが頭にあり、知らないうちにイライラが募っているかも。人手の影響は、少なからずあるが、チームとして何とか遣り繰りしている。利用控えでの、家での状況が気になる。訪問や電話での対応はしているが、それでの支援は本の少し。家族の負担も増してる。他
- ・子どもを預けることができず、自宅で保育している
- ・休職になり、収入が激減、先行き不透明。
- ・ゆっくりと利用いただく時間が提供できない。
- ・相談やカウンセリング、会員感の交流等全ての事業計画が中止となった。
- ・予定していた研修が受けられない
- ・大きなことはないですが、コミュニケーション不足、参加者の制限される
- ・イベントに参加できない
- ・関わるイベントの延期、中止
- ・毎月1回の定例会を休止
- ・イベントが中止となりそれに伴う関係の団体、業者にお金が回らない
- ・予定されている研修や企画が実施できない
- ・オンラインツールを使いこなせない方が、参加することができない

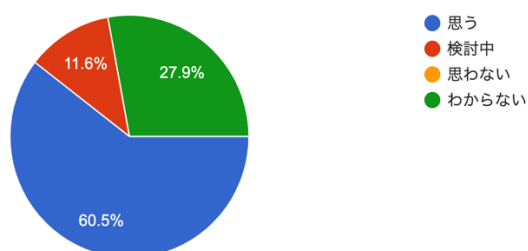
(2)「利用者が受けた影響」に、あなたの団体はどのように対応をしていますか。

【具体的な内容】

- ・何時でも相談に乗る体制。いざとなったら、すぐ駆けつける。色んな所との連携をとっている。他
- ・子どもを預けることができず、自宅で保育している
- ・感染対策強化やリモートで活動ができる体制を構築
- ・事情説明ぐらいです
- ・特に対応なし。中止通知のみ。
- ・オンライン化を検討中
- ・自粛後のフォローの実施
- ・以後のイベントへの周知
- ・対応は SNS にて情報共有
- ・オンラインツールを使えるよう、電話でサポートしている

設問3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関して、NPO・市民活動団体として「貢献できることがある」と思いますか。

43 件の回答



⇒「思う」「検討中」とお答えになられた方は具体的な内容をお聞かせください。

【具体的な内容】

- ・現在も「コロナ」うつ病と言われるほど心の不調者が出ている。今後は経済的な問題で不調者が増えていくと思われる。当団体で出来ることは不安をお聞きして「気持ちに寄り添うこと」キャリアコンサルタントが多いので HW の対応を埋める相談活動など。
- ・事務所等の運営をシェアし維持費を共有する。
- ・外出自粛の周知、行政が出している(感染予防対策)情報の拡散
- ・一時的な食糧を提供できる。
- ・オンラインコンディショニングがかなり精度がよいので、1対1、または複数に対応可能です。
- ・この大変なときに、何が助かって何がダメだったのか？お互いに持ち寄って、これからの連携や学びの場にする。私は具体的には、地域の人に対して「認知症」の人に対する理解と、

地域でコロナを乗り越えよう〜と、チラシを新聞折り込みに入れた。まだまだできることがあるように思う!!

- ・情報格差で感染対策や活動が出来ない人が多いので、助けたい。
- ・今こそ必要な自分自身の進む方向性を改めて確認するお手伝い
- ・取り残された方々の声の拾い上げ
- ・自身、できる内でのコミュニケーションをとる
- ・農業活動を通して、自給力を高める。意識向上。
- ・オンライン化への協力、メディアリテラシーの普及
- ・「ステイホーム」を楽しむためのオンラインツールの普及、使い方の指導

設問4. 中間支援組織等支援団体や行政に対して、必要なサポートや要望等についてお聞かせください。

【具体的な内容】

- ・行政の手が回らない相談業務をボランティアで行っているのですが、有償にして欲しい。
- ・協力団体の事業継続支援
- ・フードドライブやフードパントリーの実施を検討していただきたい、またはどのような活動なのか知っていただきたい。
- ・持続化補助金は、収益事業を行っていないNPOはどう申請すればよいかサポートをいただきたいです。
- ・助成金、給付金の情報提供や、在宅ワークの情報など、必要な情報をわかりやすく得られるといい。
- ・外出自粛に伴い、自粛している人たちへのアプローチへの資金（配達やネット環境構築など）
- ・正しい情報提供
- ・行政→総会について柔軟に対応してほしいのと対応策があれば県のHP等で知らせて欲しい。
- ・取り残された方々の声の拾い上げと、それを解消する策の明確化・制度化
- ・資金繰りが厳しい団体等の支援金の実施
- ・お互いの困っていることを補い合えるような団体間の紹介

設問5 新型コロナウイルス感染拡大により、団体としての困りごとや懸念などを教えてください。

【活動について】

- ・再開のめどが立たない（予定が立てられない）
- ・前年度と同じ活動が難しく、新たな活動を始めないといけない。コロナの終息時期が読めず、半期以降の見通しが立たないこと
- ・主事業が展開できないため存続すら危うい！
- ・講座を開けない、イベント開催可否

- ・講演会の講師を東京から招くため、どのようにすれば良いか検討中
- ・都内開催予定事業の開催の可否
- ・活動を自粛している
- ・活動休止のタイミング
- ・開館のメドがたたない。店に集客していいのか
- ・事業の延期や中止による会員や協力者の意識低下
- ・新会員の募集ができない
- ・学校など予定が見えないので、めどが立たない。学校の状況が心配
- ・自宅訪問が難しくなった場合、一人暮らしの方の安否確認や生活状況の把握が困難となる
- ・事業の成果が期待されたタイミングで活動を制限しなくてはならない、もしくは制限を検討しなければ多くの団体が年度末を迎えた時期と重なったため、総会の開催については、書面等による開催方法の検討、会議・打合せについては、開催を控え、電話・メール・SNS 等を活用するなど、対応の変更・工夫が見られた。また活動については、テレワークの実施・面談からメール対応に変更したり、Web や SNS にて活用情報発信・情報共有をしたり、利用者の制限や 3 密を避け、マスクの着用、消毒・換気などに気をつけながら活動を行っている団体もいる一方で、自粛や閉館などの措置をとっている団体もある。団体を支えている企業の経営に影響がおよぶであろうこと
- ・次年度のイベント開催が心配
(協賛やイベント参加者、ボランティアスタッフの減少、会場の整備等)
- ・すでに 8 月のイベントに向けて制作に入っている業者もおり、資金補助やスポンサー企業との調整について懸念している
- ・オンラインの活動も考えているが、月額利用料などが発生するシステムを利用できるほどの経済基盤がないので、迷っている。またオンラインを利用できるようにしても、そういった環境に対応できていない方も多いため、意味があるかも含めて悩んでいる
- ・子育て支援なので、親同士の交流の場が開催できないことで、集う場所がなくなり孤立した育児を助長させているかもしれない
- ・これから県内で増えていった場合、活動の自粛を検討しているが、外で遊ぶことができない子どもたちをどうサポートしていくかを考えなくてはならない
- ・参加予定のイベントの中止により PR する機会が減った。仕入れしたものを販売できない
- ・屋外といえども多人数が集まる活動なので、中止せざるをえないかと検討中
- ・今後の各種事業の開催についての会合を開きたいが悩んでいる
- ・利用者の人数が多く、それに職員がプラスされると密室・密閉・密接の 3 密が当てはまってしまう場合がある。内職作業が減り、利用者の工賃が減額・研修会や活動の自粛により、利用者たちの外へ出かける楽しみが減る
- ・通所介護及びグループホームの介護職員の確保。衛生用品の不足
- ・高齢者・障がい者の付き添いサポートの支援がやりにくい。依頼された場合、最後のより

どころでもあるので無下に断るわけにもいかない

- ・これから活動をしていく予定がくじかれ、様子見に徹している状態で困っている
- ・おそらく、現在のまま、年末まで感染拡大が収まらない気がする。就職イベントの中止のため、就労準備をしている方がむなしくなる。また、就職できない若者が増えているのではないかと懸念する。無気力感を感じる高校生や大学生も増えるのではないかと考える。気楽な相談の場や寄りどころが少なくなり、問題を解決できないまま、不登校・ひきこもり・自殺者にもつながると懸念する

【資金面について】

- ・資金繰りが悪化、収益減少が懸念される
- ・委託事業の発注見合わせにより、人件費が確保できるか心配である。イベント実施など集客が必要な事業は次年度の計画を立てるといった内容やオンラインでの開催に切りかえて、事業発注の切り換えをしていただきたい
- ・自粛によるイベント中止で団体の事業収入が減る
- ・休館中のため収入が全くない。大幅な収入源のため、活動継続が困難になる
- ・スタッフの収入の大幅減
- ・活動を自粛したことで収益は 0 になるが、NPO 法人の管理費はかかってしまう
- ・委託先の事業活動の縮減により団体の収入が減少する懸念がある
- ・会費を徴収出来ない
- ・雇用の維持など
- ・計画は立てていたが営業活動等ができないために何も予定が立たない。固定費が発生するので支払等をどのようにするか悩んでいる
- ・活動がほとんどできない。活動資金も底をついている。新しい活動計画も全てが人を介するため、計画の練り直しが必要
- ・委託事業や自社事業が開催出来ないことで収益の減少が懸念される。収益が見込めない事で事業の継続が困難となる。施設の管理運営を行なっているのだが、公共施設の指定管理団体は補助対象外との県の回答だった。しかし、現在施設は閉鎖されており、施設を活用した事業が行えない為事業収入が入ってこない。指定管理費だけでは活動資金が不十分のため今後の活動に不安を覚えている

【助成金・補助金関連】

- ・イベント開催目的で取得した助成金がイベントの中止・延期によりどうなるか不安
- ・助成金を獲得したが事業を遂行していいのか悩んでいる
- ・助成金申請ができない
- ・8 月に講座の予定をしているが、スグッチ助成事業が実施されるのか案じている
- ・補助金の交付決定が下りた形での事業の実施が困難。準備期間のチームビルディングや資金調達ができない。ボランティアの職種（医療従事者等）によっては勤務先からボランティア参加が制約される可能性があるため、人材確保に苦慮する可能性がある。趣旨を変えずに

形を変え、補助金なしで事業ができないか検討している

【その他】

- ・総会をどのように開催するか（書面決議等）
- ・職員が感染した場合どのように対応するべきか法人内で方針が確定していない
- ・職員自らが、感染源になるかもしれないと不安を抱えている。休みを希望した職員の穴埋めが難しい
- ・こういう時だからこそ市民団体が連携して何かできないのかと考えているが、いいアイデアが浮かびません
- ・なにか社会貢献ができないか模索している
- ・当団体は自然相手のため、3蜜を避ける来場者が多くなっている。自然の中で、ほほえましいご家族にお逢いしている
- ・人々との関係で世の中にプラスアルファを与えてきた意義が、不要不急の存在と揶揄する輩もまわりに出てきたり、社会の価値観が荒れてくると、市民活動が大きく後退しかねない
- ・Web 会議、テレワーク等が推奨されているが、通信資源は無限にあるわけではないので、環境整備する時間もなくテレワーク等を推奨されて困惑している
- ・オンライン導入に伴うデジタル・ディバイドへの対応
- ・顔を見て生の会話ができない
- ・行政はもっとリーダーシップをとっていただきたい
- ・ただ単に禁止というのではなく、個別な精査が必要だと思う。この先 1 年続くとするならば、長期にわたり努力してでも実施すべき項目はなにかについて絞るべきかと思う
- ・命を預かる現場なので、マスク、消毒液などが足りなくならないか心配
- ・感染者が出た場合の対応を考えると、憂鬱になるし、感染する事が怖い

以上

アンケートにご協力いただいた団体のみなさま、ありがとうございます。

なお、上記アンケートにもありました NPO 法人の総会の開催につきまして、以下の動画で紹介しておりますので、参考になさってください。

◆新型コロナウイルス感染症対策に伴う、NPO 法人の総会の開催方法について
(みなし総会)

◆ (全国 NPO 事務支援カンファレンスによる動画)

https://www.youtube.com/watch?v=mZPkswMF_E8

また富山県県庁サイトに、『新型コロナウイルスの感染拡大に係る NPO 法人の総会の開催及び事業報告書等の提出について』掲載されておりますので、ご確認ください。

(※以下の URL からご確認ください)

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1017/kj00004440-001-01.html